

## 学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する - グループ名： グループB

担当教員名：三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行 学籍番号 b1018097 氏名 須田恭平

### 1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	9 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	8 /10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	9 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	8 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価・検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	8 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	18 /20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	18 /20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	88 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

## 2.理由

出席・週報についてはすべて不備なく十分な内容を提出できたのでこのような点数を付けました。発表会においては、中間発表時に指摘を受けた発表方法を改善し、事前に動画を見てもらった前提で質問を受けることとし、もし質問が出てこなかった際に備えて簡単な動画を用意する方法にしました。これにより、聴講者から質問が出やすい発表となったため 9 点を付けました。外部評価は、評価を得られるように十分な検討を行ったため 8 点を付けました。積極性・協調性については、積極的に活動を行えたと感じているため 8 点を付けました。計画性について、グループ内のスケジュール進行と修正は柔軟に対応できており、ロボットを完成させることができいたため 18 点を付けました。プロジェクトの成果については、ロボットを 1 から作成するために必要な手順を学習でき、十分にプロジェクトに貢献できていると判断したため、18 点を付けました。

## 3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名 奥村輝：

**Arduino** での回路の設計を担当してくれました。やったことがない設計も一人でやっていて、とても心強かったです。期限の連絡などのリマインドもしてくれたので、本当に助かりました。

サイン 奥村輝

コメンター氏名 對馬武郎：

主に **Arduino** による回路設計を担当してもらいました。ほとんどテストができないにもかかわらず連携の仕様を正確に汲み取ってくれて、こちらの意図した通りに動く完璧なプログラムを書いてくれました。

サイン 對馬武郎

コメンター氏名 山本侑吾：

**Arduino** の設計行い、ロボットの目玉の一つとなる機構を作成していただきました。設計と機構の両方を重視する部分の設計では丁寧に話し合いが出来、スムーズに作業を進めることが出来ました。またグループ B では率先して作業や連絡を行っていたのでグループメンバー全員が助かりました。

サイン 山本侑吾

## 3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳

教員サイン 鈴木昭二

教員サイン 高橋信行